

# U.S. Indicators

発表日:2021年2月2日(火)

## 米国 コロナ禍も高い水準維持(21年1月ISM製造業)

～供給問題が回復ペースを抑制するも堅調な需要が支えに～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

21年1月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、58.7(12月60.5)と前月比1.8%ポイント低下し、市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の60.0を下回った(筆者予想59.5)。新型コロナウイルスの感染による消毒作業、従業員の隔離措置、採用の困難などが生産活動に影響を与え、製造業部門の回復ペースを抑えている。企業は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた労働力不足やコロナ危機によるサプライチェーンの問題などを懸念している。ただし、総合指数の水準は高く、堅調な回復ペースを維持している。また、主要な構成項目である新規受注が61.1(前月67.5)、生産が60.7(前月64.7)と低下したが内外需の回復を背景に高い水準を維持しているほか、受注残が59.7(前月59.1)と高い水準に上昇していることから、製造業の回復持続が示唆されている。さらに、企業からの報告は、需要や売上、受注の拡大など楽観的な内容が多く、回復の急減速の兆しは見られない。コロナ禍で財への需要は強まっており、米製造業部門の回復が続くと見込まれる。

1月に拡大した業種(全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)は、電気設備・部品、一般機械、一次金属、化学製品、加工金属、プラスチック・ゴム、輸送機器、アパレル・皮革、紙製品、木材製品、食品・飲料・タバコ、非鉄、家具・同関連、その他製造業、繊維、コンピューター・電子機器の16業種と12月(16業種)と変わらず、多くの業種が拡大した。主要6業種の化学製品、加工金属、輸送機器、食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器は緩やか、あるいは堅調な成長を記録した。一方、縮小した業種は、印刷・関連サポート活動、石油・石炭の2業種(12月2業種)にとどまった。

1月の構成項目別の変化では、雇用、入荷遅延が上昇した一方、新規受注、生産、在庫が低下した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用が前月比+0.18%p、入荷遅延が前月比+0.10%pの押し上げ寄与となった一方、新規受注が前月比▲1.28%p、生産が前月比▲0.80%p、在庫が前月比▲0.04%pの押し下げ寄与となった。

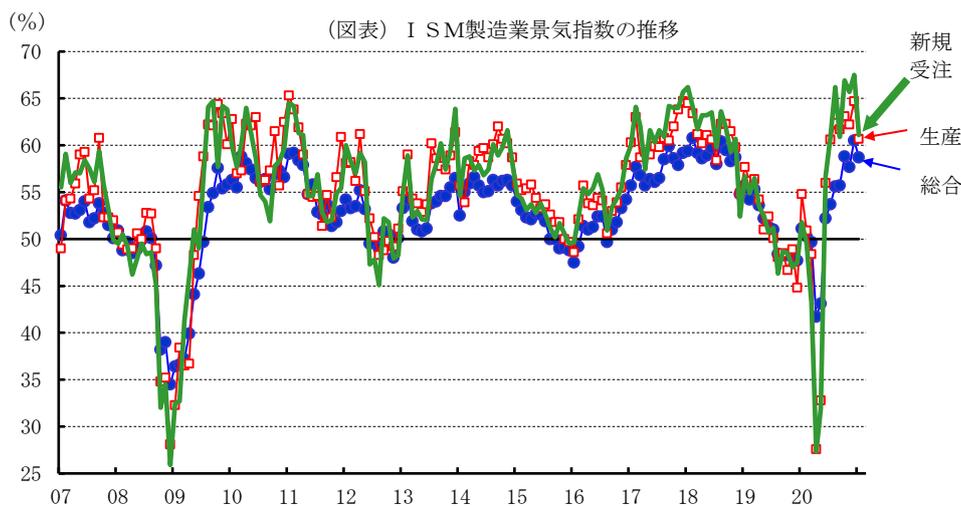
サブ項目では、輸出受注DIが54.9(前月57.5)と低下したが、米国輸出の増加を示している。また、輸入DIは56.8(前月54.6)と上昇し、米国輸入の増加を示している。新型コロナウイルスのパンデミックが続くなか、内外需要の回復によって貿易量が増加していることが示された。

一方、サプライチェーンの問題による需給バランスの悪化、輸送コストの上昇などを背景に、価格指数が82.1(前月77.6)と高い水準に上昇しており、川上で価格上昇圧力が強まっている。

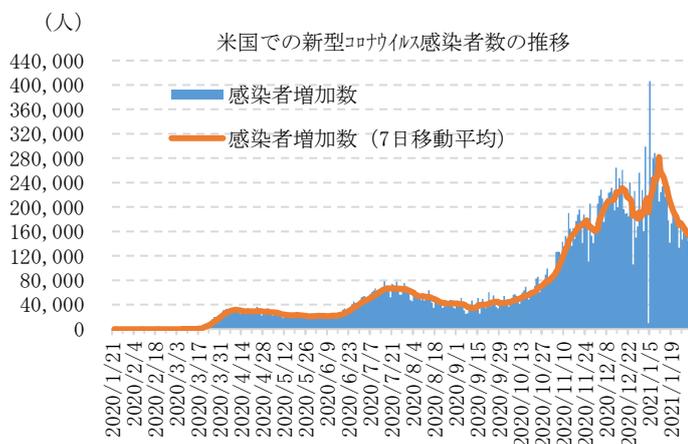
## ISM製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
20/06	52.2	56.7	56.0	41.1	50.5	56.9	45.3	51.3	47.6	48.8
20/07	53.7	60.9	60.6	43.6	47.2	55.8	51.8	53.2	50.4	53.1
20/08	55.6	66.2	62.4	46.3	44.8	58.2	54.6	59.5	53.3	55.6
20/09	55.7	60.9	61.7	49.3	47.7	59.0	55.2	62.8	54.3	54.0
20/10	58.8	66.9	63.1	52.1	51.6	60.5	55.7	65.5	55.7	58.1
20/11	57.7	65.7	62.2	48.3	50.8	61.7	56.9	65.4	57.8	55.1
20/12	60.5	67.5	64.7	51.7	51.0	67.7	59.1	77.6	57.5	54.6
21/01	58.7	61.1	60.7	52.6	50.8	68.2	59.7	82.1	54.9	56.8

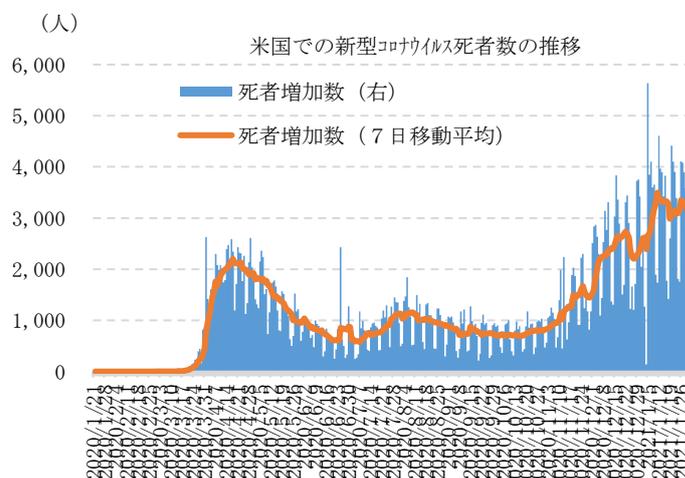
(出所) ISM : the Institute for Supply Management



(出所) ISM



(出所) CDC等



(出所) CDC等

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

